

平成28年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

平成28年度予算査定は、平成27年12月から平成28年2月にかけて実施し、平成28年2月24日に、平成28年度予算案を記者発表いたしました。

平成28年度予算は、人口減少社会を見据えて、持続可能なまちづくりを進めていくため、総合計画及び総合戦略を着実に取り組むことなどの基本的な考え方のもと、また、平成27年度における地方創生加速化の補正予算などとあいまって、今後の総合戦略における施策展開も考慮し予算編成をいたしました。

平成28年度予算の主な事業をお知らせいたします。

主な事業の査定内容です

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
総合計画策定・推進事業 本市が目指すべき新たなまちの将来像や目標を定め、その実現に向けて、市民と市が連携し、力を合わせながらまちづくりを進めていくための行動指針となる第2次の総合計画の策定を進めます。 また、現計画の進行管理も実施していきます。	要求額				2,870	第2次総合計画の策定にあたっては、すでに関係団体との意見交換や市民ワークショップ、タウンミーティングなど、広くご意見を伺うとともに総合計画策定審議会を設置し、市民皆様の計画づくりへの参画の場の確保に努めてきています。今後、具体的な検討を進めていくこととなりますが、市民の皆様と市が一体となつて、ともに本市の将来像を描いてまいりたいと考えています。
	査定額				2,870	
	○実施					
移住促進事業 名寄市への移住を推進するため、移住を希望・検討されている方に、平成25年度から本市の生活を体験いただけるよう「お試し移住住宅」を風連地区において2棟供用していますが、名寄地区の市街地に新たに「お試し移住住宅」を整備していきます。	要求額			820	3,597	名寄市は民間調査の「住みよさランキング」において、安心度、利便度、快適度が高く評価され道内都市の中においても、上位に位置づけられています。新たな「お試し移住住宅」は、それらを実感しやすい市街地内に整備し、より多くの移住を希望する方々に本市の住みよさを実感してもらい、名寄への好感をもってもらえるよう、予算を計上しました。
	査定額			820	3,597	
	○実施					

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業 新たな子育て応援施策として、子育て世帯の経済的支援を目的に、乳幼児期（0歳から2歳誕生日まで）のおむつ処理に要する有料ごみ袋を支給します。 支給枚数は、月齢で枚数を決定します。 なお、この施策の実施により、本来のごみ袋の購入額で試算すると、平成28年度支給予定枚数では約4,862千円の支援につながります。	要求額 476				476	本事業については平成24年度に一度ゼロ査定としておりますが、本市においても出生数の低下と市外への転出者数の増加が一層進んでおり、人口減少の加速化が更に危惧される状況にあります。そのためにも、総合戦略に掲げている「ここで育てて良かったといえるまち」を推進するため、既に市独自策で実施している乳幼児医療の無償化とともに、紙おむつ処理に係るごみの量は減量化が難しいことから、紙おむつ用ごみ袋を支給し子育て家庭の経済的負担を軽減していきます。
	査定額 476 ○実施				476	
ファミリー・サポート・センター事業 昨年10月に地域子育て支援センター「ひまわりらんど」を開設し、子育て環境の向上を図りましたが、平成28年度は子育てを地域で相互援助し活動するため、連絡・調整を行うファミリー・サポート・センターを開設し、子育て支援の充実を図ります。	要求額 6,760	4,506			2,254	名寄市は転勤による移動が多い都市であることに加え、核家族化が進み、子育てが孤立する傾向が強いことから、子育て家庭への支援には、地域社会とのつながりが重要な支援要素の一つと考えています。「ひまわりらんど」の開設や子育てコンシェルジュの配置に続き、子育て環境の満足度向上に努めていくため、社会福祉協議会が事業主体のファミリー・サポート・センター事業に対し支援していきます。
	査定額 6,760 ○実施	4,506			2,254	
認定こども園施設整備事業 平成27年4月から施行された「子ども・子育て支援法」に基づき、幼児教育と保育を一体的に提供する認定こども園に移行する私立幼稚園に対し、施設整備に係る費用を支援し、市内の保育内容の向上や幼保連携を推進していきます。	要求額 115,950	77,299			38,651	人口減少を抑制するためには、出生率を向上させることは重要です。平成27年3月に策定した「名寄市子ども・子育て支援事業計画」策定時に行ったアンケート調査では、専業主婦（夫）の家庭が減少し、就労希望が多いことがわかりました。現状、市内公立保育所では待機児童もでていることから、仕事と子育てを両立することができるよう、多様な保育サービスへの環境整備に努め、名寄で育てて良かったといえるまちづくりを築くため予算を計上しました。
	査定額 115,950 ○実施	77,299			38,651	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
空家等対策事業 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいた名寄市空家等対策協議会を設置し、特定空家等の認定や空家等の利活用を目指した空家バンク実施に関すること、空家に関する相談窓口の開設等について、名寄市空家等対策計画を策定し空家等対策を進めます。	要求額 540 査定額 540 ○実施				540	適正に管理されていない空家については、ごみ飛散などにより周辺住民に与える住環境の悪化などが懸念されることから、安全安心な住環境の確保を目指し、空家等対策を総合的、計画的に推進していきます。
除雪サービス事業助成補助金 高齢化の進展に伴い、高齢者のみの世帯が増加し、降雪期には自ら屋根に上がり雪下ろしを行う状況が生じているが、高齢者を中心に屋根雪下ろし中の事故が多発していることから、75歳以上の高齢者に対し、できるだけ屋根に上がっていただくなくてもすむための助成制度を創設しようとするものです。	要求額 8,200 査定額 0 × ゼロ査定				8,200	高齢者の雪下ろしへの新たな事故防止策として要求がありましたが、屋根雪下ろしに係る費用の助成を行うことが、本当に事故の抑制につながるか整理がついていないこと、また、屋根雪下ろしは高齢者のみならず危険であることから、まずは安全確保への注意喚起が重要であることなどから、除雪サービスの現制度の拡充を含めて、高齢者の事故防止策となるような事業展開を再度検討すべきと判断し、ゼロ査定としました。
基幹相談支援センター事業 障がいに関する総合的・専門的な相談支援を行い、地域の相談支援事業者間の連絡調整や、関係機関の連携の支援を行なう「基幹相談支援センター」を設置します。	要求額 5,355 査定額 5,355 ○実施	3,750		680	925	基幹相談支援センターを設置し、身体、知的、精神、発達障がいなどの相談支援業務を、フンストップで総合的・専門的に行い、障がいのある方々が生活しやすい環境づくりを進めてまいります。
女性のためのがん検診推進事業 がんの早期発見・早期治療を目的として、一定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん、乳がん及び大腸がん検診を無料で実施し、がん検診の受診促進を図ります。 本年10月には、「第48回がん予防道民大会」を開催し、がんに関する知識の普及啓発に努めます。	要求額 5,235 査定額 5,235 ○実施				5,235	近年、女性の大腸がん、20代の子宮頸がん、40から50歳代の乳がんが増加しております。これまで、国庫補助で一定の年齢に達した方に子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポンを配布してきましたが、この間の補助事業を検証し、より有効な事業を組立て、女性の検診機会の確保、健康支援のために、平成28年度からは市独自策として実施します。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
農業補助労働力確保事業 農業者の高齢化や担い手不足による農業労働力不足を解消するため、地域の労働力需要や労働市場の現状などを分析し、需給のミスマッチを解消するための方策について検討します。	要求額 1,107				1,107	当市の基幹産業である農業においては、年々農家戸数が減少するとともに農業者の高齢化が進み、60歳以上の農業経営者が半数を占める状況にあります。将来において持続的な農業を目指していくためにも、担い手不足や農業労働力不足の解消が大きな課題となっていることから、新たな農業労働力発掘に向けた調査・研究に取り組みます。
	査定額 1,107 ○実施				1,107	
市営牧野管理運営事業（施設整備） 畜産振興の基盤の確立を図り、農業経営の安定に寄与するため名寄市営牧野及び母子里牧場を設置しておりますが、それぞれの施設について老朽化が著しいことから、牧場の維持管理に必要な整備を実施します。	要求額 7,788				7,788	2つの市営牧場に係る長期的な展望に対し、十分な議論が進んでいないことから、平成28年度においては現状破損している牧柵の改修や維持管理上、必要な格納庫を設置することとしました。
	査定額 6,288 △一部見直し				6,288	
有害鳥獣・ヒグマ等対策事業 市内各地域で頻発しているヒグマによる農業被害防止及び地域の安全確保を図るため、ヒグマによる事故や被害を防ぐよう、ヒグマ対策を強化していきます。	要求額 3,031				3,031	ヒグマ対策については、広報等を通じて、市民の方々への注意喚起はもとより、各関係機関などと連携し、その対応策について情報収集しています。平成28年度においては、箱わなや暗視カメラなどを増設して、事故や被害からの未然防止と安全対策の強化を進めていくため、要求通りの査定としました。
	査定額 3,031 ○実施		1,200		1,831	
ひと・ほし・環境にやさしい灯り事業 名寄市の防犯灯についてはH26年度より順次LED化を進めてきました。新年度では更新灯数の確定などの事前調査を行い、更なる事業促進により全ての防犯灯をLED灯に整備することにより歩行者の安全・安心の確保とコストの抑制を図って参ります。	要求額 8,000	8,000			0	本事業を通じて、通学路の防犯灯についてはLED化を図ってきました。平成28年度は事前調査を行い、平成29年度からリース方式による防犯灯整備により、一度に全てをLED化することが、通学路の安全確保やコスト削減から有効な手段と判断し、要求通りの査定としました。
	査定額 8,000 ○実施	8,000			0	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
小型除雪機購入助成事業補助金 市道の除雪を行い、街区公園及び町内会が確保した空き地に雪を投入することにより道路をより幅広く使用し、除雪環境の向上に努めようとする町内会に小型除雪機購入費を補助しようとするものです。	要求額 450 査定額 0 × ゼロ査定				450 0	既に除雪ボランティアとして人的に除雪作業を実施している町内会もあること、また、公園や空き地が必ずしも各町内会にあるとは限らないことなど、事業の制度設計などの課題整理が必要であることから、ゼロ査定としました。今後は事業の予算化に向け町内会の皆さんと情報交換を行い、除雪環境の向上を目指していきます。
リアルタイム映像伝送システム導入事業 スマートフォンを使用し、離れた場所からモバイル回線を介して生中継の映像・音声をパソコン（受診端末）に配信するシステムを導入することで、災害情報を可視化し、迅速な対応を図るものです。	要求額 6,024 査定額 0 × ゼロ査定				6,024 0	災害だけでなく救急を始めとする様々な活用が考えられるが、導入経費やランニングコストを考えると、他のシステムや方法で実施することができないか再度検討すべきと判断し、ゼロ査定としました。
小学校図書館司書配置事業 平成27年4月から、市内小学校3校に学校図書館司書を配置しておりますが、新年度は、全ての小学校に学校図書館司書を配置し、学習で利用する図書の準備や提供、児童に対する読書相談への対応など読書環境の推進に努めます。	要求額 2,232 査定額 2,232 ○実施				2,232 2,232	各学校からは、学校図書館司書の配置により、貸出量の増加につながっていることから継続した配置とともに時間数増加の要望がありました。子どもたちが読書に親しむことのできる環境を整え、学校図書館を活用した教育活動を支援していくため、要求通りの査定としました。
名寄南小学校校舎・屋内運動場等改築事業 名寄市内小中学校適正配置計画に基づいた小学校の再編により、名寄南小学校の敷地内に新校舎・屋内運動場などを建設する事業で、新校舎・屋内運動場については平成28年4月から供用開始する予定です。平成28年度は旧校舎・屋内運動場の解体工事など実施します。	要求額 411,785 査定額 191,785 △一部見直し	98,151 72,655	311,800 117,300		1,834 1,830	平成28年度に実施する主な事業として、当初予算要求では、旧校舎・屋内運動場の解体工事と屋外運動場整備工事の要求でしたが、国の交付金などの財源確保のため、屋外運動場整備工事については平成27年度補正予算に計上させていただくことにしました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
名寄東小学校校舎改修事業 名寄東小学校校舎の老朽化が著しいことから、外壁や屋根などの大規模改修を実施し、教育環境の向上を図ります。	要求額 250,000 ----- 査定額 250,000 ○実施	55,458 ----- 55,458	194,500 ----- 194,500		42 ----- 42	名寄東小学校の校舎は平成2年に建設され、建築後24年を経過し、経年劣化による老朽化により様々な不具合が発生しています。この度、外壁、屋根、屋上防水、内部床改修、トイレ洋式化などの改修を実施し、教育環境を整備する観点から、平成27年度より計画が進んでいますので、要求通りの査定としました。
大学保健福祉学部再編事業 保健福祉学部再編に伴い、演習室や実習室、研究室等の不足が生じるため、新棟を建設するとともに、既存施設の改修等を行ないます。	要求額 330,200 ----- 査定額 58,700 △一部見直し		247,000 ----- 45,900		83,200 ----- 12,800	保健福祉学部再編による社会保育学科の開設については、各届け出などを終え、4月からの第1期生の受入に向け万全の準備を進めているところです。当初予算には、現在設計中の基本設計を基本に、既存施設及び新棟に必要な施設設備などを具体的に落とし込む実施設計に要する経費を計上させていただくこととし、建設工事に要する経費については年度後半の補正予算にて対応したいと考えております。
東児童クラブ整備事業 名寄東小学校校区には、放課後児童クラブがないことから、近隣の学童保育所までの通所に対する交通安全対策などから施設開設の重要性が高まっております。そのため、新たな児童クラブを設置し、放課後等の児童の安全・安心な居場所を提供します。	要求額 33,900 ----- 査定額 33,900 ○実施	16,950 ----- 16,950			16,950 ----- 16,950	長年の懸案事項でありました名寄東小学校区内への放課後児童クラブについて、平成28年度中の開設に向け準備を進めていくため、予算を計上いたしました。なお、建設後の運営に関する予算については、補正予算にて対応したいと考えております。
ピヤシリシャンツェ修繕 名寄ピヤシリシャンツェは設置後相当な年数が経過しています。リフトの主要機器については、これまで計画的に修繕してきましたが、その他設備については老朽化が進んでいるものもあり、利用される方の安心・安全に配慮した改修を実施します。	要求額 33,356 ----- 査定額 13,157 △一部見直し				33,356 ----- 13,157	名寄ピヤシリシャンツェは、冬季スポーツの拠点化を目指す上で、欠かせない重要な施設の一つではありますが、リフトなどの施設設備については老朽の度合いや、その重要度を検証し、優先順位をつけながら計画的に修繕を実施していく予定です。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
認知症施策の推進 認知症高齢者に適切に対応するため、早期からの診断や対応、認知症についての正しい知識と理解を求めるため、これまで様々な事業を展開しています。引き続き、地域で認知症の方やその家族、高齢者を見守り、支えあえる地域づくりを目指し事業を進めていきます。	要求額					認知症高齢者の増加が見込まれる中、認知症への理解や関心は徐々に高まってきておりますが、認知症を市民の方々が広く理解することにより、誤解や偏見をなくし、本人やご家族などを支えることにつながります。認知症についての知識の普及に努めることを念頭に認知症支援策を推進していくため予算を計上しました。
	2,857	1,671		557	629	
家族介護支援事業 在宅で介護をされているご家族に対して介護から一時的に開放し介護者相互の交流とリフレッシュを図ることを目的に、家族介護者交流事業を実施しておりますが、新年度からは開催期間を延ばし、いつでも気軽に立ち寄れる環境づくりを実施します。	要求額					家族介護者交流事業については、実施内容などを工夫しながら実施してきたものの、参加者が少ないことから、現状より参加機会を多く提供できるような事業とし、より充実を図っていくため、予算を拡充し計上しました。
	300	175		58	67	
公共下水道不明水調査業務 不明水とは、雨天時に污水管に入り込んでくる雨水の呼称です。現状、市内の污水管には不明水が原因とみられる排水障害も発生しています。本業務は不明水が入り込む箇所を特定し、下水道事業の適正な維持管理に努めようとするものです。	要求額					下水処理場の水処理経費の軽減や排水障害の解消に不明水対策が必要であることは全国的な課題となっております。しかし、不明水対策の抜本的な解消には、老朽管の修繕など多額の費用を要することから、財政支援を求めながら、引き続き、経済的で効果的な対策を検討すべきと判断し、ゼロ査定としました。
	6,300				6,300	
	査定額					
	0				0	
	○ ゼロ査定					

